

ふじさわネット通信

2019年12月 第40号

発行 みんなの教育・ふじさわネット
代表 松本 一郎
TEL・FAX 0466-33-4820

2019教育署名

8月31日(土)ふじさわ教育署名スタート集会

2019ふじさわ教育署名スタート集会は、8月31日(土)藤沢市市民会館で行われ、子どもの権利・教育・文化全国センターの石川諭紀子さんに「子どものいのちと人権を大切に」のテーマでお話いただきました(裏面に資料)。集会後、藤沢駅南口で宣伝と署名活動を行いました。感想の一つを紹介します。



「子どもの権利条約」は全ての大人に知ってほしい内容で、特に母親・父親となる大人には母子手帳と同じように配付し、周知できるようにするとよいと思います。実際私が初めて出産した時に、「子どもの権利条約」を広める活動をしていた知人から条約がわかりやすく書かれた本をいただき、母親の自覚が生まれたことを思い出しました。この権利条約を守る社会になることを希望します。

毎年スタート集会では様々な現状を伺い知ることができます。今年も子どもたちのために署名活動をすすめたいと思います。



12月2日(月)神奈川教育署名要請行動と提出集会 神奈川県庁新庁舎

12月2日(月)、午前には神奈川県議会の各会派を回り、ゆきとどいた教育・請願署名の要請行動を行い、午後は署名提出集会を行いました。その報告を寄せていただきました。



午前各会派議員回り、午後の提出集会と悪天候の中、参加者は例年より少なかったのですが、それでも提出集会の参加者は60名で充実した内容でした。私教連代表の佐々木さんが「議員回りの効果や、署名の力が高校授業料の無償への道を開いた」と挨拶され、その言葉を受け、午前は議員回りをしました。



今回は入室制限や門前払いは少なく、自民党、共産党、神奈川ネットと懇談。「読んでいない」という公明党の拒否回答には唖然。自民党は子育て中のパパ議員二人と懇談。図書費や給食費など「教育予算を増やすことには賛同できるが、50人もいる会派なので決定は難しい」、また、「桜」問題については「社長のことなので部下としては何も言えない」とのことでした。共産党は「各会派と一致できる場所で協力してぜひ30人学級を実現させたい」とし、請願の紹介議員を引き受けてくれました。神奈川ネットは、30人学級には慎重で、複数担任はどうかと提案。でも「この署名の趣旨には賛同」との回答でした。

私は、午後の各団体からの報告で、事務局長の境さんが神奈川県「教育ワースト」の実態や働き方改革の問題など話され、この署名行動の重要性を改めて感じました。また、旭丘高校生徒会のお二人の話。「この署名は社会全体を豊かにすることだと感じました。この行動の中で視野が広がり、自己教育活動ができ、私たち自身が成長したと思う」に勇気づけられました。旭丘高校文化祭の後、100人で小田原駅で署名行動をした様子を映像で紹介してくれました

私たち藤沢30人学級代表の遠藤玲子さんはこの運動を始めたきっかけを報告しました。二人のわが子は上の子は学級の人数が30人だったが下の子は40人で学校教育に大きな差があり、「なんとでも30人学級にしようと思った」という話は実感があふれ、感動しました。

来年度も、「この1筆が未来に生きる子どもを守る」と、がんばりましょう。(小柳 倫子)

2020年度用小学校教科書採択 市民の意見、学校調査書等を尊重した議論

藤沢市教育委員会は、2019年7月31日(水)臨時会で、2020年度から使用する小学校教科書を採択しました。(右表)

議論では、教科書展示会で市民が書いた意見書、小学校から提出された学校調査書、採択審議委員会での意見などにふれた意見が多く、採択結果は、市民や学校現場、専門性のある審議委員会の意向を尊重したものとなりました。

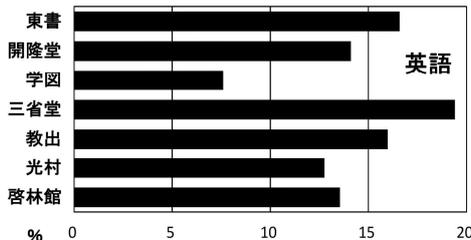
英語以外は学校調査書で最も希望が多かった教科書が採択されました。英語は小学校では初めての採択で、学校調査書(下のグラフ参照)でも希望がわかれましたが、4人の教育委員が選んだ「東書」が採択されました。

市民意見書まとめ、学校調査

書まとめ、審議会答申などの資料が、採択の臨時会前に、教育委員会ホームページに公開されるなど情報の公開、採択の透明性に前進が見られました。

2020年度小学校教科書

教科	発行者
国語	光村
国語書写	光村
社会	教出
社会地図	帝国
算数	東書
理科	大日本
生活	東書
音楽	教芸
図画工作	開隆堂
家庭	開隆堂
体育	学研
外国語	東書
特別の教科 道徳	光村



2020年度用中学校教科書採択

育鵬社(歴史・公民)を一年継続使用

小学校教科書採択(左記)に続いて中学校教科書の採択が行われました。中学校教科書は2021年度から新しい指導要領に基づく教科書に変わるため、今回は2020年度の1年間使用する教科書の採択が行われました。

藤沢市教育委員会は、採択審議委員会で報告された使用実績で「教科書によっては使いづらさはあるものの、必要なことを資料等で補うなどの工夫をしながら、全体としては現行の学習指導要領の示す目標に向かって指導ができています」と、「生徒や教員の方の負担軽減を考えますと現在、使用している教科書を採択することがよい」として、歴史・公民を含む全てで今と同じ教科書を採択しました。

2020年夏 中学教科書採択

育鵬社 NO!

2021年度から使用する中学教科書が、来年2020年夏採択されます。2011年、2015年の採択では、歴史・公民で、市民、学校現場でほとんど支持のない育鵬社の教科書が教育委員の「合意」により採択されました。

「育鵬社 NO!」の声を高め、今度こそ、市民・現場の意向を尊重した採択を実現しましょう。

みんなの教育・ふじさわネット

学習会&総会



2020年1月18日(土)13:30~16:00

藤沢市役所5階 市民利用会議室3

学習会：DVD「教育と愛国」PART II



沖縄戦の体験者は語ります。教科書検定で軍の関与の記述が削除されました。研究の成果をもとに書かれた「学び舎」教科書採択校への謂われない圧力がありました。☆写真はDVDから

㊦ 子どもを見るまなざしを問い直そう (石川諭紀子さんの資料から引用) ☆表面参照

- ①子どもは発達途上の独立した人格 大人になるまでの半人前、ではない
- ②その時々瞬間を、子どもとして生きている 子ども時代を、子どもとして生きる権利がある
- ③だから、「子どもの権利」を尊重することが大事
しっかり発言できるように成長したら「意見表明権」を認めてやろう ではなく、
子どもはその年齢・発達の段階にそって意見表明しながら成長していく と見守ろう
- ④それを受けとめる力量を持つには 大人も成長しなければ・・・